

令和元年度 第30回関東高等学校バスケットボール新人大会

令和2年2月9日(日) 男子 決勝 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第4試合

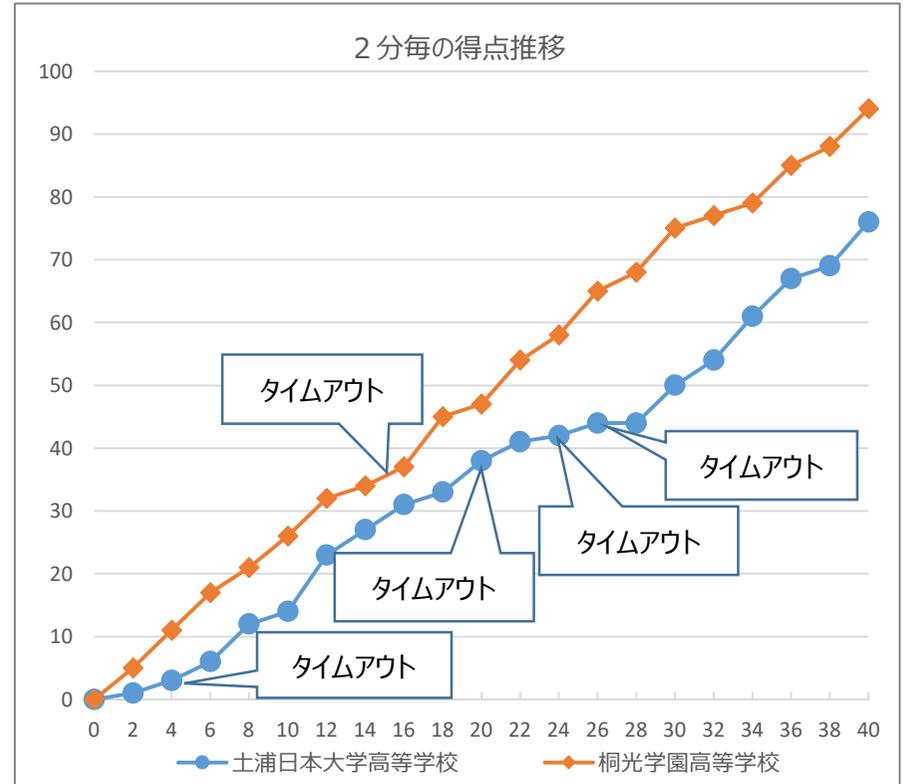
チームA		14 1st 26		チームB
土浦日本大学高等学校 (茨城県)	76	24 2nd 21	94	桐光学園高等学校 (神奈川県)
		12 3rd 28		
		26 4th 19		
		OT		

Aチーム: 土浦日本大学高等学校

No.	S	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	松村 竜吾	17	3	6	4	7	0	0	3	2	3	5
2	*	オヌ 太郎	0	0	0	0	4	0	0	2	4	1	5
3		陳岡 流羽	3	0	0	1	6	1	2	3	1	4	5
4	*	井上 水都	15	0	1	7	7	1	1	3	2	4	6
5	*	品田 真吾	22	5	15	2	3	3	3	4	0	2	2
6	*	小森 颯太	9	0	5	3	4	3	4	2	4	2	6
7		秋元 太陽	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1
8		宮内 柊人	8	0	0	4	4	0	0	4	1	3	4
9		田中 未来翔											
10		佐藤 翼											
11		武笠 玲輝											
12		石島 海斗	2	0	0	1	1	0	0	2	0	1	1
13		佐伯 峻介											
14		朝日 海安											
15		小野 竜之介											
HC/TEAM		佐藤 豊文									0	0	0
合計			76	8	27	22	36	8	10	25	15	20	35

Bチーム: 桐光学園高等学校

No.	S	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		小田 光太											
2	*	伊藤 治輝	20	0	0	8	11	4	6	0	7	7	14
3		磯崎 大護	2	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0
4	*	進 翔太	15	0	0	5	12	5	5	4	5	14	19
5		大竹 峻叶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6		近藤 航太郎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7		馬渡 心太郎											
8		木下 瑠樹											
9		ウォーレン 航喜	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
10	*	谷口 律	10	0	5	3	7	4	4	3	0	4	4
11	*	前田 健牙	15	2	12	4	6	1	2	2	0	7	7
12		岩井 慧太郎											
13		オドゲレル トルガ	23	0	3	6	7	11	14	0	3	5	8
14	*	角田 十希	9	3	5	0	1	0	0	2	0	1	1
15		邊見 勇士											
HC/TEAM		高橋 正幸									0	3	3
合計			94	5	27	27	47	25	31	11	17	42	59



戦評

記者: 横内 裕三 (山梨県高体連)

1Q: 土浦日大はマンツーマン、桐光学園はオールコートプレスを序盤から仕掛ける。立ち上がりシュートの決まらない土浦日大に対して桐光学園は#5、13、14が得点を重ね残り7分、1-11と桐光学園リードのところで土浦日大T.O.。反撃に転じたい土浦日大だがミスも重なりなかなか桐光学園のリズムを止めることができない。残り5分から土浦日大#8の3連続3Pで追い上げを図るが、14-26の桐光学園リードで1Q終了。2Q: 土浦日大は序盤からプレスディフェンスで応戦。土浦日大#7の連続得点と相手のミスを誘発し点差を縮める。5分、29-35で桐光学園T.O.。その後、桐光学園#13、16、17が連続で得点、残り3分で31-45と再び引き離すが、土浦日大#6、7、9が負けじと得点を重ね再び点差を1桁に戻し、38-47桐光学園リードで前半終了。3Q: 先にベースを掴んだのは桐光学園。残り7分、42-58となったところで土浦日大T.O.。しかし、土浦日大はチャンスを作るがシュートが決まらない苦しい展開。残り5分、42-65で後半2つめのT.O.。土浦日大#11が連続得点するが、桐光学園はインサイド陣のORや#14、16のアウトサイド陣のシュートが決まり再びリードを広げ50-75桐光学園リードで3Q終了。4Q: 土浦日大は#4の3P、ゴール下で追い上げるが、桐光学園も負けじと#5、7のゴール下、#14、16のアウトサイドで応戦。土浦日大は#4、8で最後まで追い上げを図るが、桐光学園は冷静にゲームを進め、92-76で桐光学園の勝利。初の関東新人大会優勝を成し遂げた。

主審	第1副審	第2副審
安西 郷史 (指名)	大山 賢史 (指名)	佐田 幸一 (山梨県)